

NPO 法人「三郷サンサンハウス」ニュースNo.18

地球温暖化の影響が暮らしの中に現れ、最近の天候不順もそのせいでしょうか、皆様には体調お変わりございませんか。

平成 19 年度は新事業小規模多機能ホーム萌の里が多くの注目を浴びて出発し、たくさんの方々のご支援をいただき有難うございました。

この事業は奈良県内でもまだまだ少なく、それぞれ暗中模索を続けているようです。幸い萌の里は順風満帆とまでは行かなくても、小規模多機能ホームの役割をしっかりと位置づけた利用者本位のケアを追求し、施設でなく、なじみの家で暮らし続けるのに必要な幅広い柔軟な支援に取り組んでいます。萌の里を一人でも多くの方に知っていただき、お役に立つことができればと願っています。

事業を始めて 5 年、若い職員もふえ、各事業所が管理者を中心にがんばっています。今年、三郷サンサンハウスの経営指針をつくり、利用者や地域への使命を果たせる事業所として将来を見通した方針をもつことが課題となっています。

6 月 8 日の法人の総会には是非ご参加いただき、今年度もいっそうのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 上野 登志子

NPO 法人
「三郷サンサンハウス」
三郷町三室2丁目 5-22
Tel/0745-32-3535
Fax/0745-32-3519

理事長 上野登志子
2008.5.20



居宅介護支援事業所

パートのケアマネジャーとして、いつも笑顔のムードメーカーだった柏井ケアマネが4月末で退職されました。

今後は専業おばあちゃんになられるそうです。ちょっと淋しいですが、代わりに若い(?) 國廣ケアマネが5月から就職して下さいました。

ここに退任、新任の挨拶を紹介させていただきます。

去る人も来る人も今後とものご活躍を祈ります。

これからは国広ケアマネと二人で頑張っていきたいと思っています。 中川香代子



國廣ケアマネ

5月からサンサンハウスの方でケアマネとしてお仕事させてもらっている國廣です。今までは訪問の方で在宅のヘルパーをしていました。今までの経験を少しでもこれからの仕事に活かしていければと思っています。まだまだ勉強不足で皆様にお聞きする事ばかりだと思いますが、宜しくお願い致します。

柏井ケアマネ

サンサンハウスに就職して気がつけば4年目に突入、その間ヘルパー、ケアマネとして勤務し多くのご利用者、ご家族の方々とお会いすることができました。至らぬ点も多々ありご迷惑もおかけしましたが、たくさんの事を学ばせて頂きました有難うございました。又時々あかねの里、萌の里にお邪魔いたします

小規模多機能ホーム 萌の里

萌の里もおかげさまで一周年イベントを大盛況のうちに終えることができました。

3月23日の熊本県から小規模多機能ホームきなっせの川原先生をお呼びしての講演会には秋田三郷町町長をはじめ120名ほどの参加があり、住み慣れた町で最後まで暮らし続けるためのひとつの方法として小規模多機能があることをお話下さいました。

30日には、萌の里にて午前中は大阪の若年認知症支援の会愛都（アート）の会の杉原事務局長による“認知症の人の思いから学ぶこと”をテーマにした講演会、午後からはお琴の演奏、手話ソング、腹話術、マジックショーに美味しいお菓子など充実した時間を地域の方たちと持つことができました。たくさんの皆さまにご参加とご協力を賜りましたこと、この誌面をお借りいたしましてお礼申し上げます。

利用者さんの登録者数の伸び悩みは小規模多機能施設業界全体の悩みでもあります。私たちは、関わらせて頂いている利用者さんがその人らしく暮らし続けて頂くためにそれぞれの家族さんと協力して地道に努力を続けてゆき、地域の皆さまにも、認めていただけるような事業所になれますように前進して参る所存です。

どうぞ、二年目の萌の里を宜しくお願い致します

管理者 藤 みわこ

はじめまして！：*：*：*：*：*：*♪

2008年4月25日より、萌の里にてお手伝いさせていただいております巽 比紹実（タツミ ヒロミ）と申します。

高校3年と、中学2年の男の子の母ですが、ジャニーズが大好きな若作り母さんです。

大規模施設で働いていたため、小規模についても、地域の事も全く未知の世界で、日々、勉強の毎日です。

こんな世間知らずの私ですが、皆様のご指導を賜り成長できればと思っています。

そして毎日楽しく利用者の皆様に笑顔で過ごして頂くのが私の願いです。

どうぞ宜しくお願い致します。

4月1日から1週間あかねの里では花見週間とし、三室山のふもと、竜田川の川沿いや信貴山へお花見に出かけました。

今年は桜の花が咲き始めても、肌寒い日や雨の日がほとんどでしたので、ドライブや桜の下を散歩しました。

例年のようにお弁当持ちのお花見ができなく残念でした。

「来年こそはみんなで桜の下でお弁当を食べましょう。」と約束しました。（鬼が笑っているかも知れませんネ）

廣岡 亜紗美 *:~::~*:~♪

S58年8月10日生まれ

高校まで京都の山の中で育ちました。

23歳で男の子を出産しました。1歳7ヶ月になりました。

あかねの里はとってもアットホームで学ぶことが多いです。

楽しく生活していただくことができるようがんばります。

池島 ^{ちひろ}知杏 *:~::~*:~♪~*:~::~*~

4月よりあかねの里へ来ました。みなさん優しい方ばかりなので緊張していた私にとって、とても安心できるところです。利用者のみなさんは、自分の暮らしなどを話してくださり、学ぶことが多いです。

自分の長所を活かし、利用者さんに接していきたいです。

サンサンサロン TEL50-7970

従来の開催日であります月・木曜日のご利用者がえたので、3月より一日増やして火曜日も開催しています。今のところ火曜日は、3～5名のご利用ですが楽しい時間を過ごしていただいています。

前回好評だったのは、洗濯ばさみをつかった猫づくりで「可愛い！」と言って、ほとんどの人が作られました。

手を動かすことや人と会話することが介護予防にもなり、歳を重ねていっても心身ともにいつまでも若々しいままで……

そういう場面や時間を提供できるサロンでありたいと思います。



高齢者の家「あかねの里」

TEL31-3536



この春で、高齢者の家は5年目になります。

入居当初にはなかった手すりが増設されたり、持ち込まれていた家具が、今は使い勝手のよい、そこにマッチするものにと替わり、夫々が、ますます住み慣れた、居心地のよい居住空間に変えておられます。

この季節、花はどこが見所でしょうか？ 散歩される時には杖だけでは頼りなくなり、車椅子も少し必要になってこられた方など、同行するヘルパーも増員ですが、「時間が合えばご一緒できるよ！」の気易い一声を助けに、お弁当携えて楽しい時間を過ごしていただく計画もしたいと思っています。

つらつらに 椿咲き初む

この花を 好みし夫の

面影 顕たせ (京子)

皆様今日は 小生、あかねの里でお世話になって26ヶ月。

毎日に関係者御一同様に深く感謝しながら生活している後期高齢者です。

人生の終末期とは誠に想像の範囲を越え、神様、仏様の意向も理解不可能。

しかし何があっても対処する気力、体力を失ってはならないと気を引き締めております。

- 1 鹿児島県指宿市で出生、第2次世界大戦中、空襲下命がけで旧制中学校に進学、学徒動員に明け暮れました。
- 2 大学を出てすでに55年、あっという間の現役生活でした
- 3 ゴルフを趣味として、70才まで43年間思い切り楽しみましたが、国指定難病を発病し、奈良医大に入退院を繰り返す、今日に至っております。
- 4 難病とは私自身何等知識もなく、発病当初は病院をいくつも廻り、7ヵ月後に膠原病と判明
- 5 難病に対する国指定患者は現在45種。発病の原因、治療方法は不明で、目下国機関で研究中
- 6 病と仲良く人生の終末期を迎えたいと願っておりますが、一番の打撃は全てを頼りにしていた妻が、2007年6月急逝。今だに立ち直れずにいますが、来月は一周忌。神様もむごいことをするものです。
- 7 幸い40代半ばに達した子供2人がそばに住んでおり、中学生の孫も時々顔を見せてくれるので助けられております。
- 8 日野原重明先生を見習い、少しでも国家、国民のお役に立つ余生を送りたいと考えております。
- 9 その為には、自らの力で歩けなければと、踵をまず下ろして大またで歩く、出来るだけ下肢を高く上げ、背筋をのばし、視線は上に向け、といった姿勢で毎日歩くことを自らに義務づけています。
- 10 サンサンハウス、萌の里並びにあかねの里の関係者の皆様、お世話になるばかりですが、私自身の終章期をどう書けたか、浄土へ行ってから両親、亡妻、若くして戦死した兄貴等々に説明できるようお手助けをお願いして雑文を終わります。



私も、武士の心と他利の精神で余生を送ります。

以上

たすけあいの会

最近増えてきた外出支援は、三郷町だけでなく近隣の町からの問い合わせや依頼があり、この活動が浸透していているのを実感しています。

たすけあいの会では、今年も赤い羽根募金会より助成金をいただけることになりました。この助成金を地域のより多くの皆様のため、有効に活用したいと思います。

また、これからも幅広い支援ができるように活動者を募集しています。皆様の持つておられる力をお貸し下さい。

愛ちゃん と 希望くん



会員制で、入会金 1,000 円、年会費 2,000 円、利用者も活動者も登録していただいています。

利用料のうち 100 円 (1 時間につき) を賠償保険や事務連絡費にあて、残りを活動料としています。

【サービス内容】

- ・高齢者家庭の家事援助(調理・洗濯・寝具干し)
 - ・独居や日中一人暮らしの高齢者等の話相手
 - ・食材や日用品の買い物代行
- ・外出・散歩・通院等の付き添い
- ・入院中の付き添い・食事介助
- ・車での外出支援
- ・植木の剪定・草刈
- ・介護保険ではできないサービス(大掃除・窓拭き・家周りの掃除など)



【利用料金】

- ・時間内(月～土 9:00～17:00)1 時間 800 円
(以後 30 分毎に 400 円追加)
- ・時間外(日・祝日)1 時間 1,000 円(以後 30 分毎に 500 円追加)
- ・植木の剪定・草刈は専門の方に依頼しているため別途料金

お気軽にお問い合わせ、ご相談下さい。

TEL 32-3535

ヘルパーステーション



ヘルパーとして訪問し、調理や掃除、入浴などの介助をさせていただいております。

今日はいかがでしょうかとお伺いすると、いつもどおりよろしくね、とおっしゃってくださることが多いですが、「ビンの蓋が開かなくて…」、「高い棚の食器がとれなくてね…」などと伺い、お手伝いすることもあります。

日常でちょっと困ったとき、ヘルパーのことを思い出して下さると嬉しいです。

短い訪問時間ですが、一緒に過ごせる時間を大切に思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

山城 章江さん*:.:.:.:.♪

体力には自身があります。

パン作りが趣味で、食べる事が元気の源です。

笑顔を忘れず頑張ります。宜しくお願いいたします。

介護タクシー

おかげさまで介護タクシーのご利用も増え、一日中車を走らせている日もあります。しかし、忙しくなればなるほど意識することは、「安全・安心・確実」です。

最近の事件・事故を見ても、医療・食品・住宅・鉄道など、それぞれの業界で問題になっているのは「安全」です。

利用される方が窓の外の風景を楽しめるくらい安心して乗って頂ける空間にしたいと思っております。

そして、忘れてはならないのが、車内での会話。利用者の方との何気ない会話から、お体の調子やご希望を聞くことができます。それが、サービスの向上に役立つ事もあります。

目的地までのわずかな時間ですが、世間話から、ご希望、苦情まで何なりとお話していただければ幸いです。



この原稿を書いたのは介護タクシーの新人職員の三浦ドライバーです。

2種免許所有者の山岡照美ドライバーと野村捷一郎ドライバーに若手の男性職員が加わり、3人を中心にヘルパーの応援もえて頑張ります。よろしくお願いいたします。

詳しくは、**32-3535** までお気軽にお問い合わせ下さい。

～三浦史嗣さんの自己紹介～

今から33年前、小学生の時に三郷町に引っ越してきました。

今ではすっかり地元となったこの三郷町で、

サンサンハウス タクシー事業の仕事をさせていただくことになりました。

車内は不思議な空間で、普段話さないことや、素直な気持ちが話せたりします。

ご利用の皆様との会話の中で多くのことを学ばせていただけたらと思っております。

よろしくお願いいたします。

介護保険の改善を求める国会請願運動に取り組んでいます。

今、日本の国の税金の使い方はおかしい。介護の現場でも二度の改正があったが改正の度に悪くなる。

「高齢者の施設づくりをすすめる近畿連絡会」で国会請願署名を取り組むことになり、サンサンハウスも設立して初めて街頭署名を王寺駅前で行いました。

みんな署名集めは初めての者ばかりの7名の職員、ボランティアでいつもアコーディオンを弾いてくださっている

田川さん（この方は署名集めの達人です）とで繰り出し、はじめはおそるおそる声をかけていましたが、

田川さんの指導もあり、音も出してくださり、4月に就職したばかりの職員もマイクをにぎり、だんだん楽しくなり、たくさんの方の声を聴けて良かったなあと笑顔で散会できました。

2時間で169筆とれました。また、三郷周辺の諸団体や個人の方々のご協力もいただき頑張っています。

この元気で6月初旬の国会請願には三郷サンサンハウスからも代表を出したいと思っています。

署名・カンパのご協力よろしくお願いいたします。

電動シニアカー(3輪)あります入用の方はサンサンハウスまで

使用は1年未満のものですが、長期間未使用のためバッテリー交換が必要です